

事例  
研究高年齢者の活躍が  
企業の未来を切り拓く

少子高齢化に伴う労働力人口の減少は、企業の人材不足を招く大きな問題となっています。本紙では、高齢者の積極的な採用により、問題解決に向けて取り組まれている企業をご紹介します。本事例を足掛かりとして、高齢者を活用した人材確保にお役立てください。

業務の分業化で、シニアの積極採用推進  
社会福祉法人 いちはつの会  
社会福祉法人 夕張みどりの会2019年、シニア枠を設置  
積極的な採用に取り組む

「社会福祉法人 いちはつの会」と「社会福祉法人 夕張みどりの会」は、社会福祉事業を道内に展開するグループ企業だ。両社の人材採用を担当している畠中要さんに話をうかがった。

畠中さんは夕張みどりの会が運営する「ショートステイ八軒西紅葉園」の管理者という立場でもある。「グループ合わせると、約500人弱の従業員がいます。うち60歳以上のシニア世代は約2割くらいでしょうか」。同社は2019年にシニア枠を設置し、シニア世代の採用に本格的に取り組んだ。どのような狙いがあったのだろうか。

「それまでは、介護職員が入居者さまの身体介護のほか、清掃や食器洗いなど、すべての作業を行っていましたが、いままでの業務を精査して、分業化することを考えました」と畠中さん。つまり、シニアの方に入居者の方の清掃や食器洗いなどを任せ、介護職員には身体介護等、有資

格者にしか提供できないような専門的なサービスの提供に専念してもらうということだ。シニア枠を導入して約3年経過した現在、どのような状況なのだろうか。

「とてもいい影響を職場に与えてくれたと思います。シニアの方の仕事への取り組み方が本当に真摯で、それを実際に目にする若い職員への教育効果はかなり大きいと思います。言葉で言ってもなかなか伝わらないですから。また、業務を分業化したことで、介護の質が総合的に高まり、入居者さまの満足度も高めることができました」（畠中さん）。シニア枠として初めて採用された方が、今回お話を伺った堀田敏雄さん、81歳だ。

シニア枠採用 第一号  
堀田さんは理想の人！

堀田さんは2019年、78歳で「ショートステイ八軒西紅葉園」に入社。前職の小売業を辞めたのが75歳、当時の肩書は顧問だった。「毎日、TVを見てご飯を食べるとい

う生活がつまらなくて。札幌市就業サポートセンターで相談したらここを紹介されました。そしてまずは職場体験をしてみてもどうかと提案されました」。そのときに面接、実習、採用を担当したのが畠中さんだった。「まずは堀田さんの経歴に驚きました。こんな人がほんとうに来てくれるのかと。



社会福祉法人いちはつの会が運営する「八軒ふくろうの森」(写真左)と「八軒ふうろうの城」(写真上)。

法人概要	法人名	社会福祉法人いちはつの会
	所在地	恵庭市南島松6番4
	法人分類	第一種社会福祉事業 第二種社会福祉事業
	沿革	平成13年 社会福祉法人いちはつの会 設立認可

法人概要	法人名	社会福祉法人夕張みどりの会
	所在地	夕張市紅葉山178番地
	法人分類	第一種社会福祉事業 第二種社会福祉事業
	沿革	平成24年 社会福祉法人夕張みどりの会 設立認可



### ショートステイ八軒西紅葉園 管理者の畠中要さん

世代に近いシニア枠の方が入居者に寄り添って働くことでサービスの質が高まっていることはもちろん、入居者に近く接しているため、入居者の体の変調にいち早く気づき、知らせてくれることもあるという。

### 堀田敏雄さん（81歳）

「一度しかない人生。いつも希望と目標をもって、いきいきと生きていきたい」。趣味は盆栽、マジック、ハーモニカと多彩。「2030年、新幹線が札幌まで延伸されたら、横浜まで中華料理を食べに日帰り旅行をしたい」と話す。



しかし、堀田さんが実習に取り組む姿勢に驚きました。本当にまじめで一生懸命だったんです」。堀田さんは、後輩シニアの理想的なお手本として、現在、1日4時間、週3回働いてらっしゃる。「新しく入ってこられたシニアの方には、まず、堀田さんの働く姿を見てもらおうんです」（畠中さん）。堀田さんに、働くうえで気を付けていることは何なのか聞いてみた。「例えば、ただきれいにすればいいのではなく、きれいにしたうえで、原状回復するということです。入居者さまにとっては、それがあべき場所が決まっているでしょうから。例えばゴミ箱をとってみても、定位置があるはずですよ」。まるで高級ホテルの客室係のような発想だ。

元気なシニアに向けたひと言を畠中さんに伺った。「人によって働く目的も違うでしょうから、勤務日数や時間など、相談させていただきます。専門知識はなくても問題ありません。元気に無理なく働ける範囲内でお手伝いしていただければ嬉しい」。年齢に上限は設けていないという。希望と目標をもって、堀田さんのように、いつまでもいきいきと暮らしたいものである。

## 社労士からひとこと！

### 同じシニアだから提供できる「あたたかい」サービス！



社会保険労務士・  
キャリアコンサルタント  
産業カウンセラー

小嶋 亜希子 さん

「当事者になってみないとわからない」ということがあります。歳をとるということはその代表例ではないでしょうか？ 今年85歳になる母に「出したものはちゃんとしまいなさい！」と、小さい頃によく叱られました。その母が今では出した物はそのままです。母に「自分は出しっぱなしでもいいの？」と尋ねてみました。返ってきた

言葉が『歳を取ると、一度出した物をしまいう元気も、また出しに行く元気もなくなるのよ』という返事でした。母の周りを見ると日常使うものが、すべて自分の半径1メートル以内に置かれていました。そうした気持ちに寄り添った仕事をしている堀田さんは素晴らしい。そこに目をつけた採用活動をしているのも素晴らしい！

## 高齢者雇用の求人募集は【就サポ】へ！

お申し込み・お問い合わせ

札幌で就活なら  
**就サポ** 札幌市就業  
サポートセンター

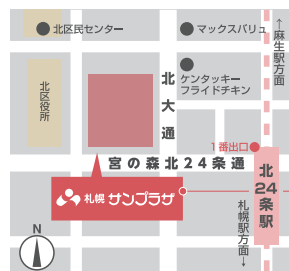
求人開拓室

☎ 011-708-7865

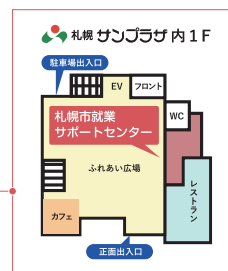
☎ 011-716-6811

《受付時間》平日8:45～17:00（土・日・祝日・年末年始除く）

就サポサービス情報サイト <http://saposen.co.jp/>



札幌市北区北24条西5丁目 札幌サンプラザ1階 地下鉄南北線「北24条駅」1番出口より徒歩3分



さっぽろ市  
02-H03-21-1944  
R3-2-1263

主催：札幌市 実施・運営：株式会社 東京リーガルマインド